教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
おかいもの	小	グループ学習 低学年　ゆり （国語・算数）	

＜ねらい＞
- みたてやつもり活動を経験し、話し言葉やイメージする力の土台を育む。
- 絵本などの読み聞かせを通して、言葉や場面の面白さを味わう。
- ものを自分から操作したり（マッチングや１対１対応）、変化させたりすることで結果が見通せる遊びをたっぷりと経験する。
- 遊びの中で分かる言葉を増やすとともに、教師や友達に伝える力を育てる。

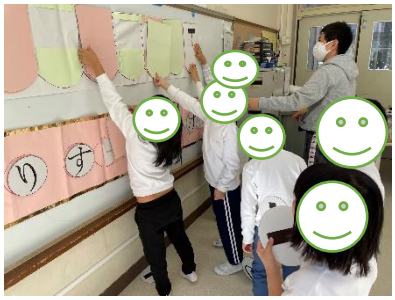
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
１　はじまりのうた 「♪はじまるよ」	・歌に合わせた動作をしながら、学習の始まりを意識する。	◎全体を通して、自分からできた行動に対しては、具体的にできたことを伝えて褒める。
２　あいさつ	・指を２にして始まりの挨拶をする。	
３　呼名	・自分の写真カードが引かれて友達から名前を呼ばれたり、カードを渡されたりすると、前に出て自分の名前を言う。	・写真と友達の顔を見比べるように促す。「どうぞ」「ありがとう」のやりとりの見本を見せ、促す。
４　ふれあいあそび 「たまごをパカッ」	・教師や友達の表情を見ながら、歌の言葉に合わせて活動する。	・しっかり目を合わせてから活動を行う。簡単な言葉を聞いて動けるように、ゆっくりはっきり伝える。 ・歌を歌ったり、絵本を操作したりして、絵本への注目が途切れないようにする。
５　よみきかせ 「おかいもの」	・絵本を見聞きして台詞を言ったり、操作したり、動作模倣したりして絵本を楽しむ。	
６　やってみよう ①　お店に品物を並べよう ②　お願いされた物や好きな物を買おう	・色や形に注目して、看板やサンシェードを完成させる。 ・お願いされた品物をお店に並べる。 ・お願いされた品物や好きな物を選び、カートに入れてレジまで運ぶ。	・マッチングしてお店の道具が完成できるようにしておく。 ・おつかいをお願いする時は、言葉で伝え、難しいようなら言葉に写真カードを添えながら伝える。
７　ふりかえり	・好きだった活動の絵カードを選び、教師や友達に思いを伝える。	・活動を象徴する写真カードを使って、好きだった活

8　あいさつ	・指を２にして終わりの挨拶をする。	動を発表できるようにする。

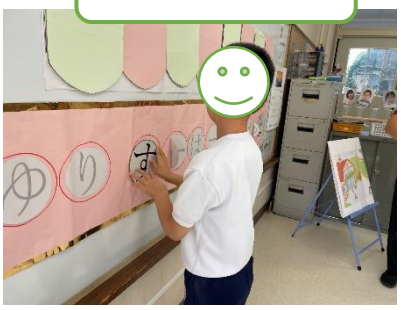
＜内容（工夫点など）＞

- グループの友達への興味関心が高まるように、お互いの顔を見たり、触れあったりする活動をはじめに毎回取り入れた。
- 絵本と同じような世界を作って、活動への意欲を高めた。
- 小道具をたくさん準備して、何をするのかが分かりやすいようにした。
- 子ども同士の学び合いが生まれるように、一人ずつの活動で自信をつけると、複数での活動へ移行した。
- 学習した内容を振り返り、思いを伝え合う時間を設定した。

手作り絵本



看板作り



おつかい

おかいもの